

# — 上智大学 —

2月7日 法・経済・外国語(英)学部 日本史

## 解答

1

- 問1 ア ③③ イ ③④ ウ ④⑤ エ ④④ オ ⑩⑩  
 カ ①① キ ②③ ク ④④ ケ ③⑦ コ ⑩⑩  
 サ ⑬⑬ シ ②① ス ③⑤ セ ⑦⑦ ソ ⑩⑩  
 タ ⑫⑫ チ ⑥⑥
- 問2 ③③ 問3 ②② 問4 ④④ 問5 ③③  
 問6 ①① 問7 ③③ 問8 (1) ③③ (2) ③③

2

- 問1 ④④
- 問2 ア ⑥⑥ イ ⑭⑭ ウ ④④ エ ⑩⑩ オ ⑨⑨  
 カ ⑱⑱ キ ⑪⑪ ク ⑬⑬ ケ ⑮⑮ コ ⑰⑰  
 サ ⑧⑧ シ ⑤⑤
- 問3 ①① ウ ②② サ ③③ エ ④④ ケ ⑤⑤ ク  
 ⑥⑥ キ ⑦⑦ オ ⑧⑧ シ ⑨⑨ イ ⑩⑩ コ  
 ⑪⑪ カ ⑫⑫ ア

3

- 問1 あ ①① い ⑫⑫ う ⑦⑦ え ②② お ③③  
 か ⑭⑭ き ⑨⑨ く ⑥⑥ け ⑩⑩ こ ⑧⑧  
 さ ⑬⑬ し ④④ す ⑮⑮ せ ⑪⑪ そ ⑤⑤
- 問2 (1) ⑬⑬ (2) ⑨⑨ (3) ⑭⑭ (4) ⑧⑧
- 問3 ⑤⑤ 問4 ①① 問5 ②② 問6 ④④ 問7 ①① 問8 ②②

4

- 問1 (1) ②② (2) い ④④ う ②② え ⑥⑥ お ⑪⑪
- 問2 ア ④④ イ ⑩⑩ ウ ⑫⑫ エ ⑤⑤ オ ⑰⑰  
 カ ⑳⑳ キ ㉓⑓ ク ㉗⑗ ケ ㉔⑔ コ ㉕⑕  
 サ ⑮⑮ シ ⑱⑱ ス ㉖⑖ セ ⑧⑧ ソ ㉙⑙
- 問3 (1) ①① (2) ⑤⑤ (3) ④④
- 問4 (1) ③③ (2) ②②

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！

## 解 説

1

問 1

- ア 奈良県桜井市の纏向遺跡の大規模前方後円墳は箸墓古墳。卑弥呼の墓ともされている。
- イ 倭の五王の最後は倭王武。478年に南朝の宋に遣使した記録が残っている。
- ウ・エ 倭王武は雄略天皇・ワカタケル大王と同一と考えられている。
- オ 応神天皇の子孫で北陸から迎えられた天皇は継体天皇。大連大伴金村が擁立した。
- カ・キ 難問。安閑・宣化朝と欽明朝が対立したという説がある。
- ク 聖徳太子の家系の上宮王家、「大兄」であり、死に至るといふ部分から山背大兄王。対立した田村皇子はのちの舒明天皇。
- ケ 難問。大化の改新に際して、舒明天皇の子の古人大兄皇子を滅ぼした。
- コ 大友皇子と大海人皇子が争った古代最大の戦乱は壬申の乱。
- サ 後継の天皇位を継承するといふ部分から皇太子が適当。
- シ 蘇我馬子は592年に東漢直駒を差し向け崇峻天皇を謀殺した。
- ス 奈良時代に皇位継承に関わった人物で、律令制の整備などに尽力した人物は藤原不比等。
- セ 天武の子であり、天智天皇の娘の持統天皇の子でもある草壁皇子の系統が天智・天武双方の融合となる。
- ソ 道鏡は物部氏の系統で法相宗の僧侶。
- タ 孝謙天皇が重祚した称徳天皇の次の天皇は、天智天皇の孫の光仁天皇。
- チ 光仁天皇の子は桓武天皇。

問 2 ②・③が魏志倭人伝だが、卑弥呼の死に関する史料は③。①は後漢書東夷伝、④は日本書紀の、箸墓古墳についての記述。

問 3 ①は吉野ケ里遺跡、③は唐古・鍵遺跡、④は荒神谷遺跡。

問 4 仁徳天皇陵は大仙陵古墳、応神天皇陵は誉田御廟山古墳。①の作山古墳は岡山県で総社古墳群は群馬県。

問 5 醍醐天皇の延喜年間に活躍した人物は藤原時平・忠平の兄弟。①は弘仁格式、②は貞観式、④は類聚三代格。

問 6 欽明朝で成立した史書で、大王の系譜や皇位継承については帝紀。旧辞は神話や伝承など。

問 7 難問。6世紀末から7世紀前半までの時期と考えると、厩戸王は用明天皇の長子で摂政・皇太子なので適当。①の炊屋姫は推古天皇を指し、父は欽明天皇。②の穴穂部王は穴穂部皇子で父は欽明天皇でまた崇峻天皇の「皇太兄」。①・②ともに長子ではない。田村王は舒明天皇だが、父は押坂彦人大兄皇子で天皇ではない。

## 問 8

- (1) 天武・持統朝なので飛鳥浄御原令。
- (2) 基本知識。天皇即位の秋は大嘗祭。今年も新天皇即位の年なので行われる。

## 2

問 1 ④が正解。最近の変更点なのでしっかりと確認しておく。

## 問 2

- ア 足利尊氏の息子で、他の人物と照らし合わせれば 2 代将軍義詮。
- イ 3 代将軍義満の子なので、4 代将軍の義持。
- ウ 基氏から始まる家系は鎌倉公方の家系だが、3 代の鎌倉公方満兼は難問。応永の乱の関係で出題されることがある
- エ イが 4 代将軍義持なので、その子は 5 代将軍義量。
- オ 鎌倉公方の家系で 4 代の永享の乱の際の足利持氏。
- カ 義教の子で、義政の兄弟から 7 代将軍義勝。
- キ やや難。子の茶々丸が北条早雲に滅ぼされた堀越公方なので、父は政知。
- ク 8 代将軍義政の子は 9 代将軍の義尚。
- ケ 持氏の子で、永享の乱の後に鎌倉公方として関東管領と対立したのは成氏。
- コ やや難しいが、義視の子は 10 代将軍の義植。1493 年の明応の政変で細川政元に京都を追われた。
- サ やや難しいが、政知の子は 11 代将軍の義澄。明応の政変後に擁立されたが、その後義植が京都に戻り、将軍職を廃された。
- シ 12 代将軍義晴の子は 13 代将軍の義輝。剣豪として知られている。

## 問 3

- ① 大内義弘の挙兵である応永の乱についての記述から満兼。
- ② 1493 年の明応の政変における細川政元についての記述から 11 代将軍の義澄。
- ③ 次代の将軍がくじ引きで決まった 6 代将軍の義教と読めるから 5 代将軍の義量。
- ④ 永享の乱後に上杉憲忠を殺害したことや古河公方から成氏。
- ⑤ 母が将軍就任を求め、大乱となり、細川勝元が後見、などの記述から 9 代将軍の義尚。
- ⑥ 堀越公方なので政知。
- ⑦ 1416 年の上杉禅秀の乱の鎮圧、関東管領上杉憲実との対立などから持氏。
- ⑧ 松永久秀に襲われ自刃した人物は 13 代将軍の義輝。
- ⑨ 1416 年の上杉禅秀の乱の時期の将軍で、1411 年に日明貿易を中断したのは 4 代将軍の義持。
- ⑩ 1493 年の明応の政変で細川政元に京都を追われたのは 10 代将軍の義植。
- ⑪ 赤松氏の赤松満祐に 6 代将軍の義教が暗殺された嘉吉の乱後の将軍なので 7 代将軍の義勝。
- ⑫ 父の執事と叔父の間の不和とは、高師直と足利直義の観応の擾乱。父は尊氏なので 2 代将軍の義詮。

3

問 1

- あ 水戸藩江戸藩邸で編纂された歴史書なので『大日本史』。
- い 武士の帰農と土着を主張し、参勤交代などの幕政を批判したのは熊沢蕃山で著作は『大学或問』。
- う 赤穂に配流になった代表的人物は山鹿素行で朱子学批判の著作は『聖教要録』。
- え 日本を中朝として、日本中心の思想を提唱した山鹿素行の『中朝事実』。
- お 上野忍ヶ岡の私塾から林家で、親子で編纂した歴史書は林羅山・林鶯峰の『本朝通鑑』。
- か 天下九変五変論を唱えた歴史書は新井白石の『読史余論』。
- き 将軍の侍講、自伝的著作から新井白石の『折たく柴の記』。
- く やや難問。古代史に関する史書という点から絞りたい。新井白石の『古史通』。
- け 大名は藩主なので、藩主の伝記などと読み取れば新井白石の『藩翰譜』。
- こ 古文辞学を始めたという部分から古文辞学派の荻生徂徠と判断できるので『政談』。
- さ 難問。ヒントが少ないが 1729 年は吉宗の享保期なので、荻生徂徠の弟子の太宰春台の『経済録』。
- し 明の徐光啓の著作は『農政全書』。それを参考にしたのは宮崎安貞の『農業全書』。
- す 難問。本草学の著作とわかるので、『養生訓』が貝原益軒と知っていれば『大和本草』を選べる。
- せ 本草学の著作とわかるので、空欄すが選べれば加賀藩に仕えた稻生若水の『庶物類纂』が残る。  
吉宗に命じられた弟子は丹羽正伯。
- そ 和算の著作から吉田光由の『塵劫記』。

問 2 いずれも頻出の史料なので、出典を迷わないようにしておきたい。

- (1) 頻出の太宰春台の『経済録』の一部。大名の財政難を警告している。
- (2) 頻出の新井白石の『折たく柴の記』の元禄小判鑄造に関する部分。「重秀」は勘定奉行の荻原重秀。
- (3) 頻出の新井白石の『読史余論』の撰関政治の開始に関する部分。天下九変五変論の最初の一変の部。
- (4) 頻出の荻生徂徠の『政談』の一部。貨幣経済の発展についての部分。

問 3 水戸藩の江戸藩邸の研究機関は彰考館。水戸にあった水戸藩の藩校の弘道館と混同しないように。

問 4 問 1 の空欄おの解説参照。

問 5 新井白石の著作と判断できれば家宣か家継と絞れる。1702 年成立なので厳密にはまだ 6 代将軍就任前の甲府藩主の徳川綱豊の命で作られた。

問 6 これが荻生徂徠に関する記述と読めれば、吉宗と選べる。

問 7 貝原益軒は福岡藩黒田家に仕えた。

問 8 問 1 の空欄せの解説参照。

4

## 問 1

- (1) 難問。全輸出品の 3 割弱が生糸だった。
- (2) い 工場法は桂太郎②内閣の 1911 年に公布され、大隈②内閣の 1916 年に施行された。  
 う 難問。1900 年の小学校令改正で義務教育の授業料が免除となった。  
 え 平塚らいてうと市川房枝が 1920 年に新婦人協会を結成した。  
 お 女子差別撤廃条約調印にともない、中曾根内閣の 1985 年に成立した。

## 問 2

- ア 横山源之助の著作なので『日本之下層社会』。
- イ 1886 年に日本初のストライキが起きたのは甲府雨宮製紙場。
- ウ 日本で救世軍の活動を開始した人物は山室軍平。社会鍋などの慈善事業を実施した。
- エ 徳富蘇峰の叔母の矢島楫子は矯風会を組織し、売春をなくす廃娼運動を推進した。
- オ エの解説参照。
- カ 問 1 の空欄うの解説参照。
- キ 戸主など家族に関する法律は民法だが、旧民法は施行延期になったので、民法典論争後に成立した新民法となる。
- ク 『婦人公論』と迷うが良妻賢母的な内容は『主婦之友』が適当。
- ケ 戦時期の女性に関する団体を選べばよい。
- コ 戦場の後方で、間接的に何かの形で戦争に参加していること。
- サ 問 1 の空欄えの解説参照。
- シ 問 1 の空欄えの解説参照。
- ス 女性の社会主義団体を選べばよい。
- セ 赤瀾会のメンバーは選択肢には山川菊栄しかいない。他に伊藤野枝、堺真柄などを知っておきたい。
- ソ 家事・育児を一人でやらざるを得ないのは核家族化が進んだから。

## 問 3

- (1) 家督は財産だけではなく、戸主の権利と義務。
- (2) 七七禁令は 7 月 7 日に出了れたからである。
- (3) 高度成長期の団地が都市での住宅難の解消に建設された結果、核家族化が進行した。

## 問 4

- (1) A が男女雇用機会均等法、B が工場法、C が労働基準法の内容と判断できるので選べる。
- (2) ①は日清戦争ではなく日露戦争。③は幸徳秋水ではなく大杉栄。④のベアテ・シロタは日系人ではない。⑤のリンゴの唄は並木路子。

その他の大学・学部の解答解説はコチラ！

増田塾 2019 解答速報ホームページ

早慶上智・GMARCH・関関同立などをはじめとした難関大学の解答解説を随時公開していきます！